

2025 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

I. 事業の成果

1. 組織の運営

実績	成果・課題・対応
1. 会員数：運営会員 20（21）名、賛同会員 103（100）名 2. 寄付件数は 24（21）件 （ ）は昨年度の数	
〈事務局〉 ・事務局 16 名（うち四街道市みんなで地域づくりセンター4 名、2025 年 11 月 1 名退職、26 年 3 月 1 名退職）、富里 1 名、おおなみこなみボランティアスタッフ 4 名で運営 ・新規採用 2 名、退職者 4 名 ・事務局会議（月 2 回）で各事業担当から進捗、課題等を報告し、全体で共有してすすめた。	「みんなで地域づくりセンター」の職員の定着が課題
・2025 年度理事会日程 第 3 木曜日 15:00～17:00 5 回（7/17、9/18、12/18、3/19、5/21）にオンライン併用で開催した。	オンライン併用開催したことで、役員の負担軽減につながった一方、議論が浅くなってしまう傾向は否めない。

2. 相談事業・NPO の支援事業

①相談事業

実績	成果・課題
事務所での相談は 37 件、四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談は 84 件、年間で 121 件の相談件数 会計処理に関しての相談とあわせて、団体運営に関しての相談が増えている。また、NPO 法人の解散に関する相談が数件あった。	・「明確な規定」では判断できない、NPO の特性による相談内容には、税理士や社労士の方にも相談し、特性を理解した丁寧な回答を行った。

②講座事業

実績	成果・課題
1. ちばし地域づくり大学校事業 令和 7 年度地域人材育成事業として受託、実施。ステップアップコース 12 名（定員 20 名）、入門コース 29 名（定員 30 名）、基礎コース（定員 20 名）町内自治会コース 21 名（定員 26 名）で実施した。勝部麗子さん（豊中市社協）を講師として、「ひとりぼっちをつくらない～すべての人に居場所と役割を～」をテーマにキックオフ講座を兼ねた公開講演会を開催。9 月～2 月の間に 8～14 回の講座を連続開催し、地域づくりの人材育成につなげた。 ・入門コースと基礎コースでは、地域の活動団体でのボランティア体験プログラムも組み込み、座学で学ぶ⇒実際の活動に参加する⇒今後の活動についてのイメージづくりをする、といったカリキュラム設定をしている。 ・ステップアップコースでは、「円滑な団体運営のためのファシ	・全体として定員に満たない状況での開催となった。依然として受講者確保が課題。 ・修了者の中には、シニアリーダーや実地体験先で活動を始めた人もおり、地域づくり人材の確保につながっている。おおなみこなみで定期的に講座を開催している修了者もあり、修了後も関係が続いている。

リテーション」「資金調達」「広報」をテーマに外部講師を依頼し専門性を持った内容で開催するとともに、団体の次のステップにつなげるプランづくりを行った。可能な講座はオープン講座として、入門コースや基礎コース、町内自治会コースの希望者も参加可とし、コースを越えての学びと交流を促した。 ・町内自治会コースでは、受講者それぞれが自分たちの自治会を見直し、課題解決に向けた活動プランを作成した。斎藤主税さん（都岐沙羅パートナーズセンター）を講師として、講義「地域の持続可能性を高めるには自治の進化が不可欠」の他、プラン発表の講評を実施。 ・全クラスの受講者のうち希望者を対象にオープン講座として「SNSの活用」講座を開催。	
2. 千葉県市民活動団体マネジメント事業（団体運営の基礎） 千葉県事業として受託実施、6回の講座を開催。団体の基盤強化、運営力向上につなげる内容で、外部講師を依頼し専門性を持った内容で開催。受講者数延べ267名。講座満足度で満足との回答は83%。 10/18 団体の未来をつくる事業戦略づくり～人材育成と担い手確保のために～ 講師：松本祐一さん 10/16 NPO法人の労務① 講師：石井敏則さん 10/23 NPO法人の労務② 講師：石井敏則さん 11/11 NPO法人の日常会計処理 講師：加藤達郎さん 11/25 NPO法人の年度末会計処理と事業報告書作成 講師：加藤達郎さん 2/12 NPOのための個人情報保護講座 講師：須藤博文さん	全講座、定員を超える受講者数での開催となったが、当日参加での受講だけではなく、後日視聴も可としたことで、対面、オンタイムでの参加者数が減少傾向にある。講師との質疑応答で理解を深めるといったことや、受講者間での情報交換や交流を促すといったことができていくくなっている。

③講師派遣

NPOと行政との協働や団体のマネジメント、市民の地域づくり活動への参加等についての講座の企画、講師を派遣した。 ・千葉市緑区、千葉市花見川区、千葉市中央区地域活性化支援事業助成対象団体研修（各1回） ・浦安市市民大学講師 ・浦安市職員向け市民参加推進講習会講師 ・君津市「協働のまちづくり研修会」講師 ・千葉市生活自立・仕事相談センター花見川に係る連携会議講師 ・富里市とみさと市民活動サポートセンターコーディネーター研修講師
--

3. 被災地、被災者支援事業

①福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業（福島県県外避難者相談センターちば開設）

実績	成果・課題
【相談対応】電話・対面相談を実施 電話による相談 延べ97件 戸別訪問 延べ84件、来所者2名 【県内自治体との連携・調整】 松戸市、習志野市、館山市、野田市、流山市、千葉市、富里市、成田市、我孫子市、袖ヶ浦市、木更津市	・墓じまいの相談や避難元の土地をどうしたらいいか悩んでいるなどの相談があった。今後も同じような相談が増えていくのではないかなと思う。 ・後期高齢者で一人暮らしの方が多くなっているので訪問すると普段話し相手がいなくて寂しいことからも喜んでくだ

【県内支援組織との連携】 6月・9月・12月・3月情報交換会・実行委員を開催。 【交流会】 6月 いけばな体験交流会(鎌ヶ谷市) 参加者 29人 10月 縁 joy 交流会(千葉市中央区) 参加者延べ 123人 12月 押絵体験交流会(鎌ヶ谷市) 参加者 17人 【情報紙】 縁 joyVOL. 103～VOL. 108 隔月6回、2000部発行。被災元自治体から避難者に送付。	さる。 ・県内自治体に訪問することで、避難元の復興状況を伝えることができ、状況によっては帰還できない方もいることを伝える機会にもなっている。
--	---

②福島県避難者住宅確保・移転サポート業務

実績	成果・課題
・2026年3月末にて、大熊町、双葉町の応急仮設住宅措置が終了のため、福島県生活拠点課との連携により大熊町からの2名、双葉町からの1名の避難者をサポートした。 ・南相馬市から茨城県に避難して暮らす方のサポートを継続した。	・相談者の現在の状況や希望に沿った内容で、情報提供や転居に向けた事務処理のサポートを行った。 ・相談者本人だけでなく、家族の判断等も考慮する難しさがあった。

③被災地・被災者支援活動

実績	成果・課題
・千葉県共同募金会助成事業「災害支援体制強化のための情報収集とネットワークづくり」を申請した(2026年度事業として取り組む予定) ・千葉県災害ボランティアセンター連絡会にオブザーバーとして継続参加。 ・11/15(土) ちばユニバーサル農業フェスタで被災地能登の福祉事業所の物販を行い、復興支援を呼びかけた。	・災害対応に備えて、平時からのネットワークづくりを目的に、アンケート調査や情報交換会を実施予定。 ・事業人件費の確保が難しい。

4. 地域づくりのコーディネート事業

①四街道市みんなで地域づくりセンター運営管理業務委託事業

実績	成果・課題
1. 施設利用状況 開館日 227日 打合せ・相談延べ人数 931人(4人/日) 新着情報 457件、相談件数 84件 みんなのテーブル利用団体 63団体 利用人数 418人 講座などの開催 22回 講座などの参加人数 532人	・10月1日より、市の開庁時間と合わせ、開館時間が9:00～16:30になり、ホームページ等で周知を図った。
2 (1) 相談窓口業務および様々主体とのつながりについて ①相談対応 84件 「コラボ四街道」に関すること 25、市民活動団体の運営 21、地域の課題・活性化 12、地域の情報問合せ 6、活動への参加 5 等 ②支えあい(市地域支えあい推進会議・多様な団体・機関との連携・協働)(市社協 地域包括支援センター、福祉の総合相談窓口、四つ葉プロジェクト＝市・岩淵薬品・千葉大) ・みらくる農園の活動 ・四街道の支えあい100人情報交換会 地域共生社会を自分事として考える ③学校・関係機関等との連携・協働	・「つながる・つなげる」健康まちづくりシンポジウム(第2弾)～いろいろな人が活躍できる居場所づくり～

・淑徳大学との連携（コミュニティ政策学部サービスラーニング） 【参加した回数と人数】 延べ 10 回、延べ 36 ④アートを活かしたまちづくり 「四街道ふるさとまつりのごみ箱アート 楽しく分別、きれいな街へ」 ゴミ箱制作 合計 48 個 ・ワークショップ 参加 26 人 ・中央小学校、盲学校、特別支援学校 と連携	淑徳大学【参加した活動の内容】 ・みんなで災害支援ネットワーク交流会 ワークショップに参加・発表 ・こども食堂開催準備・運営・配膳・こどもとの遊びや関わり ・ちばユニバーサル農業フェスタ 2025 実行委員会参加／企画・実施、
(2) 市民活動に関する情報の収集及び発信 ①「みんなで」市政だより 1p 8/15 コラボ四街道事業紹介 「みんなで」特別号 街を支える働く人たち 1000 部発行 ②団体基本情報 年度ごとの更新（終了）75 団体 ③HP、SNS 等 ・Facebook フォロアー1141（年間投稿数 113 件）インスタフォロアー370 ④チラシを公共施設・駅ラック等に配架、そごう展示 1/27～	
(3) 市民活動に関する学習の機会及び相互交流の機会の提供等 ①市民活動の基礎 ・一度は聞いておきたい！市民活動の基礎講座 6～9 人参加 5/20 市民活動の社会的な役割 6/24 市民活動の運営資源 6/24 7/8 市民活動の法人格 ・はじめての CANVA 講座（5～10 人の参加）11/5, 1/28/3/7 ②こども支援ネットワーク ・こども食堂ネットワーク（10 か所）事務局をセンターが担う ・5/11「よつかいどうこども万博 来場者 2000 人 「夢みる小学校 完結編」上映会 152 人 ・8/4 準備 8/2, 3 夏休みこども主体ワークショップ「図書館おばけ屋敷」参加 142 人 ・2/14, 15「夢見る 校長先生」上映会＋講演会 参加 92 人 ③災害支援ネットワーク ・6/28 みんなで災害支援ネットワーク交流会 ① 「市民の力を生かして災害支援を！」21 人 ・11/21 みんなで災害支援ネットワーク交流会 ② - みんなで話そう「災害時子どもにこそ必要な支援」22 人 ・2/3 避難所運営委員会 立上げ・運営研修「2/3 あるといいよね！避難所運営委員会～立ち上げや運営について話そう～22 人 ④大きなテーブル/ユニバーサル農業フェスタ （センターは地域をつなぐ事業として協力） ・第 26 回 大きなテーブル 5/31 主催 実行委員会 （センターは事務局） ・ちばユニバーサル農業フェスタ 2025in 四街道 11/15 主催 実行委員会 事務局：NPO クラブ、現センターは現地事務局	※参加者は学ぶ機会が少ない市民活動の基礎的な内容を学び、活動を振り返り新たな事業の実施を思い描くことができた。また、他市の参加者と意見交換し活動に生かせた。 ・11/5「はじめての CANVA 講座」多くがセンターに初めて来る人で地域づくりについて知るきっかけにもなった。 ・セーフガーディング講座「安心安全なこども食堂・居場所とは - すべてのこどもが自分らしく過ごせるために-」（協力） 主催：NPO 法人千葉県子ども食堂連絡会 参加 25 人 ※ネットワークの組織化の検討 1/10 組織化についての話し合い 2/28 第 1 回 団体設立準備会 3/21 第 2 回 今後の予定 4/25、5/16 設立総会 6/30 ・出展団体 22 団体 雨天のため、すべて屋内開催。来場者およそ 800 人 売上総額 714,870 円 ・出展 32 ブース（＋コラボ出展 4）他 市役所・関係機関 6、ボランティア 18 人、淑徳大学学企企画から参加 来場者数およそ 900 人売り上げ 841,932 円 寄付 25,500 円（出展団体から）
(4) 市民活動に関する人材の育成、発掘や新たな市民活動への支援	R8 コラボ四街道 採択団体 1 団体（lien リアン）（申請 4 団体）

①コラボ四街道申請サポート ・ 市政だより 6/15 号 「コラボ四街道申請サポートします」 ・ 9/26 コラボ四街道説明理解・申請書書き方講座 5 人 ・ 10 月個別相談会（随時） ・ 12/19 プレゼン準備 パワポのコツ 1 人 ・ 1/30 プレゼンリハーサル 5 人 ②コラボ四街道採択後の支援（令和 8 年度事業について） 取材・相談対応を行った ③市民団体、NPO 法人設立・運営の相談・助言・情報提供 ・ 「市民活動の基礎講座」において学ぶ場をつくった ・ 一般社団法人立上げに際しての定款について相談対応	
--	--

②多世代交流拠点「おおなみなみ」運営事業

実績	成果・課題
開設から 12 年が経過、4 名のボランティアスタッフとともに運営を継続、平日 シニア層を中心とした地域の居場所となっている。	・ 「なくなったら困るから」といった声が多く聞かれるようになり、地域の高齢者の暮らしの支えになっていることが実感できる。
・ 健康貯筋体操、アイチ体操、おとなのための英会話講座を継続開催。 ・ ちばし地域づくり大学校修了者が講師となる「クラフト講座」が新たに開催、「対面型美術鑑賞会」も定期開催した。 ・ 「編み物サークル」「折り紙講座」等、主体的に活動するグループが増えた。 ・ 「青空市」を開催（8 月、3 月）。生活クラブ虹の街から「子ども食堂」運営のための助成金 2 万 8 千円の助成を充当。 ・ 千葉県社会福祉協議会「千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成金（ひまわり助成事業）」により、温水器の設置、ボードゲーム等を購入し、子どもの居場所としての機能を高めた。 ・ 10 月から月 1 回「みんなで食堂」を開始、子どもや子育て世代を中心に多くの参加を得て、毎回 60 食前後の食事提供を行った。 ・ JFSA との協働で「リサイクル衣料品の回収と販売会」を 2025 年 4 月と 2026 年 3 月に実施した。 ・ 2 月に千葉市どこでもこどもカフェに登録 ・ 県内の 5 福祉事業所の協力を得て、物品の受託販売を実施した。 ・ 「ロボットプログラミング」講座の会場等、スペース貸しにより運営費の確保ができた。	・ ボランティア講師の力が大きい ・ 各講座に、新たな参加者が加わり、全体の参加が増えてきている。 ・ 『みんなの居場所』として週 3 日開放している時間帯に子どもの人数が増えてきている。 ・ 『みんなの居場所』にボランティアスタッフを増やし定着。 ・ 地域づくり大学校の修了生がボランティアとして 2 名参加。

③八街市協働のまちづくりコーディネーター支援事業

・ コーディネーター会議（12 回/3h）に出席、下記事業、企画、進め方へのアドバイスや情報提供、原稿校正などを行った。 ・ オンライン情報共有会議（月 1 回/1h）事業の進捗報告、課題、団体からの相談対応にアドバイスした。 1. 情報提供、情報収集 ・ ニュースレター 4 回発行 区長回覧、学校回覧、機関設置/2,800 部 ・ メルマガ毎月配信。PIT 活動案内、助成金情報の提供、登録：82 人 ・ 八街市ホームページ内 PiT ページに協働コラムを掲載する。 ・ 広報やちまた「ようこそ！協働のまちづくり」 2. コーディネート・ネットワーキング	・ 開設 3 年目となる R7 年度はコーディネーター 1 人体制/日で運営、R8 年度は 3 日/週、1 名体制となり事業計画内容は減少してはいるものの人的資源に不安がある。
---	--

・八街のいいねを語ろう会、まちづくりわくわく交流会 2 回開催 ・八街ふくしフェスタ出展 3. 人材育成 ・地域力向上スクール 3 回開催 (資金調達、オンラインツールの活用、人材募集) 4. 相談対応 ・資金調達について助成制度の案内、申請書の書き方のアドバイス等活動基盤の強化につながる相談が目立った。 ・中高生の居場所を開きたい、産後ケア活動の場所を探している、コミュニティ財団をつくりたい、退職後何か役に立ちたい等	
---	--

④SAVEJAPAN プロジェクト事業

実績	成果・課題
富里市おしどりの里を育む会が実施団体とし、目的を遊休田、林縁及び竹林整備を進め、新たな湿地帯を造成、水生昆虫の保全等による防災・減災（Eco-DRR）への取り組みとする。年間を通して市民の参加を呼びかけ現地でのイベントで周知する。 団体との連絡や専用サイトに活動を掲載すること等を現地事務局（佐藤さん）が担当した。 ・3 日/週の整備活動 ・カタクリ、カザグルマ、キンラン、ギンランの植生調査 ・ほたる鑑賞会、もみじ祭りの開催など多くの住民が参加した。 ・キックオフミーティング開催をサポートし、全国から 23 団体/54 名が参加した。研修会、懇親会を成田市内を会場に、フィールドワークはおしどりの里で受け入れた。	・関係機関、団体、行政とも連携して整備活動やイベントを開催、年間を通して多くの市民が訪れる場所になっている。この里山保全活動が防災・減災に役立っていることを知らせることができた。

⑤プロボノ事業

実績	成果・課題
1. 習志野市市民協働型委託事業「ならしのプロボノ 2025」 ・3 団体の 13 名と社会人ボランティア 11 名が参加し、市内団体の運営基盤強化にプロジェクトとして取り組み、社会貢献需要の掘り起こしを行った。以下が、実施内容。 ・団体向け困りごと相談会&プロボノ団体募集説明会の実施 7/12、7/16 14:00～16:30 プラッツ習志野 3 団体が参加、昨年のプロボノワーカー経験者が延べ 5 名参加し、ヒアリング対応と支援事例を紹介 ・社会人ボランティア募集説明会の実施 参加者計 23 名 (8/3 オンライン 8 名、8/23 プラッツ習志野で対面 9 名、8/31 追加オンライン 4 名、録画視聴 2 名) ・オリエンテーション 9/8 18 名参加、2 名録画視聴 - プロジェクト実施時の注意点と各プロボノチームの顔合わせと初回ヒアリング ・活動報告会を公開実施 2/28(日) プラッツ習志野/Zoom のハイブリッド実施 参加者計 37 名 (うち 9 名は一般参加、会場 28 名、Zoom 9 名) 3 チームからの発表、プロボノワーカーにまちづくり参画証を授与。各チーム活動報告資料と全体報告は市 HP に掲載。 ・以下は、参加団体名と取り組み内容。 ①習志野市国際交流協会	【完了後アンケート結果】 団体メンバー（3 団体 13 名）、プロボノワーカー（11 名）共に、「参加してとてもよかった、よかった」の回答者が 100%。 プロボノワーカーの 90%が、「また活動したい、やや活動したい」と回答。一定の満足度を双方から得られた。 【成果】 各団体とも多数がプロジェクトに関わったことで、団体全体の気づきや運営の見直しの機会ともなった。昨年度から継続参加のプロボノワーカー 5 名は、説明会等での運営協力者として貢献していて、次につながる内容になった。 【課題】 初参加の社会人ボランティアの場合、進め方等に戸惑う場面が見られた。また説明会参加からプロボノ参加に進む人は半数くらいに留

(市民への周知のためのホームページの内容整理と広報施策検討) ②マスママカレッジ (活動紹介動画の作成と作成動画の広報活用) ③きらっといっぽの会 (Jimdo ホームページのリニューアル、啓発活動のためのアンケート実施方法と内容の整理)	まっている。参加ハードルが下がるような関わりやすい仕組みづくりは今後の課題。
--	---

⑥県「地域ボランティア活動環境整備事業」について

ボランティア活動をしたい人が、気軽に地域における活動に取り組むことができるよう、ボランティアと受入団体のマッチングを図るサイト『ちばボラナビ』の活用を推進。受入団体の開拓・支援やボランティアの魅力を体感することができる体験会の開催などにより、ボランティア活動の促進・定着に向けた環境の整備を促した。 ・「ボランティア体験受入」4 団体 ①NPO 法人 NPO 富里のホタル ②認定 NPO 法人 NPO 行徳自然ほごくらぶ ③NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団 悪天候中止 ④NPO 法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会 (JFSA) ・伴走支援 (8 ステップに沿ってサポート) 6 団体 ①一宮ウミガメを見守る会 課題：定着したボランティアの募集 ②NPO 法人ちば環境情報センター 課題：ボランティア人数の確保 ③ NPO 法人しろい環境塾 課題：近隣ボランティアの募集 ④ フードバンク ISS 課題：事務局もできるボランティア探し ⑤社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会 課題：ボランティア募集とちばボラナビを使っの広報 ⑥NPO 法人はぐくみの杜を支える会 課題：信頼できる近隣住民のボランティア募集	受託団体である NPO 法人サービスグラントとの連携・協力事業として実施。NPO クラブのこれまでの活動でつながりのある団体を対象に事業を実施、新たな視点での支援につながった。
--	---

5. 市民活動・市民事業に関する情報の収集及び提供（広報事業）

実績	成果・課題・対応
<紙媒体による情報発信> ・ニュースレター「つぎの一步くん」85～87 号を各 900～1000 部発行。講座チラシ等とあわせて、配布、配架依頼。(会員、県内外の市民活動センター・中間支援団体等) ・「市民活動マッチングカタログ 2025」(千葉市市民活動支援センター発行)に団体紹介を掲載。 ・千葉市市政だより・広報習志野等の掲載、チラシの自治会回覧、生活クラブ情報紙「コルザ」、ちいき新聞の記事掲載などで事業の周知活動(ちばし地域づくり大学校、ならしのプロボノ等)を行った。	・ニュースレターでは、ちばし地域づくり大学校やおおなみなみなどの団体の活動のほか、地域の居場所やつながりづくりといった地域自治をテーマに、まとまった文章で伝えることができた。
<オンラインの情報発信> ・メールマガジン No. 498～No. 514 発信済 発信先 737 件 ・ホームページ、ブログ、SNS (Facebook ページ、Facebook グループ、X、Instagram) 参加者募集時に Facebook・Instagram 広告を活用した。 ・外部ポータルサイトで情報発信を行った。千葉日報社の地域情報サイト「ちばとぴ!」の「CHIBAKARA～ちばから」チャンネル、ちばボランティアナビ、チーム千葉ボランティアネットワーク、activo、GRANT 等	・ホームページの管理システムの変更を含めて、ホームページの設え変更を意図したが、予算的、時間的余裕がなく中途となった。 ・受講者確保が十分でない事業もあり、訴求ポイ

・ フォロワー数 Facebook : 589、X : 560、ちばとぴ！～ちばからチャンネル : 5235	ントの明確化は今後の課題。
<メディア掲載> ・ ちいき新聞 7/11 号千葉市版ちばし地域づくり大学校の取材記事 1 面掲載 ・ ちいき新聞 7/18 号習志野市版ならしのプロボノの取材記事 1 面掲載 ・ ちいき新聞 (2026. 1. 7～11 号) 千葉県内 34 地区版・茨城県 1 地区版「初めてのボランティア」取材記事掲載、「ちばボラナビ」のサイト紹介 ・ 読売新聞 (2026. 3. 4 掲載) 千葉版「避難者つなぐ架け橋に 浪江出身・千葉在住の石井さん」福島県の県外避難者支援活動に関わる取材記事掲載	・ 掲載タイミングで「ちばボラナビ」の会員登録が 60～70 人増加したと事務局より連絡があった。

6. 他団体との連携・協力事業

① NPO 法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

実績	成果・課題
・ 5/28 解散総会後、解散届出書類、官報掲載、残余財産譲渡認証申請、清算決了登記届、1/19 清算登記完了、千葉市に清算決了届出書を提出した。 ・ ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会事務局は NPO クラブが引き継ぎ、2026 年度も開催する。	NPO 法人の解散手続き、届出書類、プロセス等わかりにくいところもあり、想定よりも時間がかかった。

② その他の組織、団体との連携

実績	成果と課題、対応
公益財団法人ちばのWA地域づくり基金 年間寄付総額 : 5,792,945 円/316 件 ・ 休眠預金等活用事業 2023 通常枠 資金活用事業 「若年就労困難者のための包括的就労支援事業」3 団体の伴走支援。 ・ 事業指定助成プログラム 2025 年 4 件実施 ・ 子どもの今と未来を支える基金 5 件採択 (36 件/8,560,000 円助成) ・ 「安房まちづくり基金」(エリア型基金) 設立、4 件採択。 ・ 遺贈寄付についての相談が専門家を介して数件あった。	・ 安房まちづくり基金は次年度も継続できるよう寄付募集を継続する。 ・ 財団運営資金の確保が引き続きの課題。
生活クラブ千葉グループ協議会関連 ・ つながる経済フォーラムちばは一般社団法人化し、重症心身障がい者の方が講師となり自治体職員の研修事業を行う。事務局を増員する予定。 ・ ちば社会的連帯経済研究所は、研究誌をNo.13 号まで発行。フォーラム、講演会を開催、報告書をまとめ記事掲載し、自治体関係課、図書館等に配布した。	・ 会員各団体にとって関心、有益な内容にするためにさらに検討が必要である。
民間ボランティア推進会議@静岡 7/5、7/6、企画運営、当日参加した。	
行政. 関係機関委員就任等 〈担当 : 牧野〉 ・ 千葉県地域ぐるみ福祉振興基金運営委員会 ・ 千葉県県民活動推進懇談会 ・ 松戸市協働のまちづくり協議会 ・ 市原市市民協働推進委員会 ・ 富里市協働推進委員会 ・ ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク ・ 公益財団法人ちばの WA 地域づくり基金理事長 〈担当 : 鍋嶋〉 ・ 千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会 ・ 千葉市市民自治推進会議 ・ 千葉市緑区活性化支援事業アドバイザー ・ 習志野市協働推進委員会 ・ 印西市まちづくりファンド選考委員会 ・ 中央ろうきんカナエルチカラ県選考委員 ・ 全国ボランティア推進団体会議世話人 (民ボラ) ・ NPO 法人ほっとハート監事 ・ 生活クラブ生協千葉監事 〈担当 : 勝又〉 ・ 大網白里市住民協働事業審査会	

・千葉県社会福祉センター指定管理者の選定に係る外部有識者会議 ・NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センター監事 〈担当：赤木〉 ・認定 NPO 法人コミュニティケア街ねっと理事	
--	--

Ⅱ. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
市民活動・市民事業に関する情報収集及び提供事業	【広報事業】 ・ニュースレター「つぎの一歩くん」の発行 ・メールマガジン「通信・一歩くん」の配信 ・団体ホームページ、ブログ、Facebook 等での情報発信	年 3 回 毎月 2 回 随時	当事務所 当事務所 当事務所	2 名 1 名 2 名	会員 123 名 他多数 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 会員 123 名および配信希望者 500 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
市民活動・市民事業に関する講座事業	【講座事業】 ・千葉県市民活動団体マネジメント事業 ・ちばし地域づくり大学校	9 月～2 月 9 月～2 月	千葉市 船橋市 鎌ヶ谷市 千葉市	6 名 6 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 延べ 267 名の参加 千葉市および近隣市在住の市民一般 76 名
被災地・被災者支援事業	【福島県避難者支援事業】	通年	千葉県内	3 名	避難者 1,198 名 県内支援団体 8 団体
市民活動・市民事業を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助事業	【相談事業】 ・事務所での相談対応 ・四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談 【四街道市みんなで地域づくりセンターの運営】 【多世代交流拠点おおなみなみの運営】 【SAVEJAPAN プロジェクト事業】 【プロボノ事業】 【千葉県地域ボランティア活動環境整備事業】 【八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業】 【自治体、他団体との連携・協力業務】 委員会等にNPOの立場で関わるとともに、講座等の講師を担った。	通年 通年 通年 通年 10 月～3 月 通年 5 月～3 月 通年	当事務所 四街道市 四街道市 千葉市内 千葉県内 千葉県内 千葉県内 八街市	7 名 3 名 3 名 9 名 3 名 2 名 2 名 1 名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数 37 件 市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数 84 件 市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 入館者総数 1,881 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 「ユニバーサル農業フェスタ」来場約 900 名 市民一般、利用者総数約 1,100 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 23 団体、64 名 市民活動・市民事業を行う 3 団体、プロボノワーカー11 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 10 団体 コーディネーター4 名 ・千葉県、四街道市、千葉市、大網白里市、松戸市、印西市、習志野市、市原市、浦安市 ・千葉県社会福祉協議会 ・中間支援組織 ・中央ろうきん